

---

## 天満屋ビル



英語名：Tenmaya Building

所在地：大阪市港区

海岸通 1-5-28

建設年：1935年 -

天満屋ビルは港運回漕業を営んでいた清水潤が建てた近代建築で、天満屋はその屋号を引き継いだもの。清水は築港の住吉大社に大燈籠を寄進するなど、土地の有力者だった。外観のデザインは当時流行したスクラッチタイルの外壁に、水平と垂直を強調した構成がモダンな印象。中谷運輸築港ビルと同様、盛り土によってかつての3階が2階になっているが、曲面を描く外壁に設けられたその大きな開口からは、港の陽光が降り注ぎ、室内のカフェにゆったりとした時間が流れている。3階には、ビル内に露地を設けた「知足庵」という本格的な茶室がある。2020年、設計者の村上徹一の息子である建築士の村上晃一さんが、外観の修景工事を設計するというドラマが生まれた。(高岡伸一)